

2015年4月9日

4月定例所長会見における発電所長挨拶内容

- 所長の横村でございます。
- 福島第一原子力発電所の事故から4年と1ヶ月が経とうとしておりますが、未だ、福島県の皆さま、新潟県の皆さま、そして広く社会の皆さまに、大変なご心配とご迷惑をおかけし続けている状況であり、あらためて心よりお詫び申し上げます。  
また、先月末には発電所構内で火災が発生し、地域の皆さまには大変なご心配をおかけいたしました。改めてお詫び申し上げますとともに、しっかりと原因究明を行い、再発防止に取り組んでまいりたいと考えております。
- 本日、私からは3点お話しをさせていただきます。
- まずは、原子力規制委員会による地質・地盤に関する現地調査についてです。  
先月17日に原子力規制委員会による地質・地盤に関する現地調査が行われ、石渡委員をはじめ原子力規制庁から13名の方がお越しになられ、現地の状況をご確認いただきました。  
当日は、発電所敷地内の1～4号機側における立坑調査の状況、発電所敷地外の刈羽村村内におけるトレンチ調査の状況及び敷地内外において採取しましたボーリング試料をご覧いただいております。  
現地調査を終え、石渡委員からは、現地調査に関して「こちらから要求したものと、もともと計画されたものについては大体全部やってもらい、現場で説明いただいた」「大きな土木工事をして得るデータはこれでそろったのではないか」とのお話をいただいております。一方で、「データの解釈とか事実の記載の

上で、不十分なところ、多少問題があるところもあった」とのご指摘もいただいておりますので、そうした点を含めて、引き続き審査会合に真摯に対応してまいりたいと考えております。

なお、現地調査において必要なデータは得られたものと考えておりますが、自主的な取り組みとして、説明性のさらなる向上を目的として、寺尾地点におけるボーリングについて、既に採取済みの2本に加え、今後、追加で3本実施していくことといたしました。

○ 次に、新潟本社の設立についてです。

今月1日に、新潟市内に設置しました新潟本部を中心に、新潟県内の事業所である信濃川電力所と当発電所からなる新潟本社を設立いたしました。

当社はこれまで新潟県内において、長期間にわたり発電事業を営ませていただいております。新潟県の皆さまには多大なるご支援・ご協力の下、関東圏の電力の安定供給を支えてきていただきましたことに、あらためて感謝申し上げます。今後も柏崎市、刈羽村の皆さまをはじめ新潟県の皆さまの思いにこれまで以上に誠実に向き合い、共に歩んでいくという思いをもって、事業運営に取り組んでまいります。

当発電所においては、これまでと同様に、柏崎市、刈羽村の皆さまを中心に、発電所の取り組みや状況をきめ細かくお伝えし、ご説明をしながら、地域の皆さまから発電所についてご理解いただき信頼いただけるよう、今後とも努めてまいります。

○ 最後に、日本商工会議所による当発電所のご視察についてです。

来週14日に日本商工会議所の三村会頭をはじめ、地元柏崎商工会議所の西川会頭や原子力発電所の立地地域であります福井県の敦賀商工会議所、鹿児島県の川内商工会議所の皆さまに発電所をご視察頂く予定です。

ご視察では、震災以降に取り組んでまいりました安全対策について、ハード、ソフトの両面からご覧いただきます。

当発電所では、今回の機会に限らず、地元の柏崎刈羽地域をはじめ新潟県内外の多くの皆さまに安全対策の取り組みをご説明させていただき、ご理解いただけますよう今後とも全力で取り組んでまいります。

○ 本日、私からは以上です。

以 上